

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 7月

令和元年7月1日の推計人口 1,327,626人

世帯数 561,734世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和元年7月1日現在の推計人口は、1,327,626人で、前月(1,328,479)に比べ853人の減少となった。

市部では大村市(71)、松浦市(9)、西海市(3)の3市で増加し、長崎市(△309)、佐世保市(△209)、諫早市(△86)、南島原市(△50)、五島市(△39)、平戸市(△27)、島原市(△25)、壱岐市(△22)、対馬市(△20)、雲仙市(△13)の10市で減少した。

郡部では増加した町はなく、長与町(△52)、時津町(△42)、新上五島町(△15)、波佐見町(△10)、川棚町(△9)、小値賀町(△4)、東彼杵町(△4)の7町で減少した(佐々町は増減なし)。

自然動態は、出生数702人、死亡数1,185人で483人の減少、社会動態は、転入者数2,477人(県内転入を含む)、転出者2,847人(県内転出を含む)で、370人の減少となった。

2 世帯数

令和元年7月1日現在の世帯数は、561,734世帯で前月(561,764)に比べ30世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 5月

1人当たり現金給与総額 259,950円

対前月比 1.8%増加

対前年同月比 3.0%増加

1 賃金

5月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額259,950円で、前月に比べ1.8%増加し、前年同月に比べ3.0%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は248,498円で、前月に比べ1.2%減少し、前年同月に比べ1.7%増加した。

特別給与額は11,452円で、前年同月に比べ、3,245円増加した。

2 労働時間

5月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は146.3時間で、前月に比べ5.4%減少し、前年同月に比べ3.0%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は135.4時間で前月に比べ5.4%減少し、前年同月に比べ、3.0%増加した。

所定外労働時間数は10.9時間で、前月に比べ6.9%減少し、前年同月に比べ4.4%減少した。

3 雇用

5月の常用労働者数は227,431人で、前月に比べ0.1%減少し、前年同月に比べ1.2%増加した。

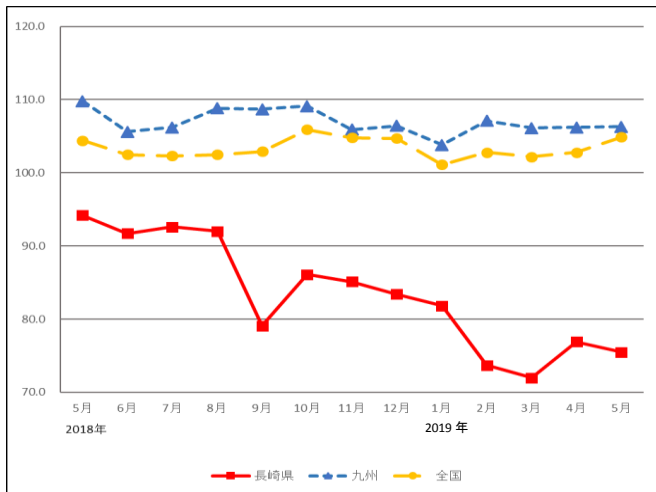
【鉱工業生産指数】…………… 5月

令和元年5月の鉱工業生産指数

(平成27年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	調整指数	前月比(%)		
長崎県	75.5	△1.8	73.5	△19.7
九州	p106.3	△1.2	p99.3	△2.6
全国	104.9	2.0	97.8	△2.1

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



令和元年5月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が75.5で前月比は1.8%の減、原指数は73.5で対前年同月比は19.7%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、窯業・土石製品工業、電子部品・デバイス工業など8業種が上昇し、食料品工業、繊維工業、輸送機械工業など5業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	34.8	△4.3	開閉制御装置
窯業・土石製品工業	3.8	0.7	道路用コンクリート製品
電子部品・デバイス工業	3.3	△1.1	半導体集積回路

○主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
食料品工業	△18.9	2.3	その他の調味料
繊維工業	△12.0	△11.1	漁網・陸上網
輸送機械工業	△1.4	△27.5	新造船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 6月

総合指数(H27=100) 102.8

対前月比(%) ±0.0

対前年同月比(%) +0.4

令和元年6月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、102.8である。

前月比と同水準で、主な上昇要因は「食料」の+0.7%、「住居」の+0.1%であり、主な下落要因は「家具・家事用品」の△2.2%、「交通・通信」の△0.6%である。

前年同月比は、平成31年3月は+1.3%、4月は+1.2%、令和元年5月は+0.3%と推移した後、6月は0.4%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.0であり、前月比は△0.1%、前年同月比は+0.4%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

食料	0.7%
住居	0.1%
諸雑費	0.2%

▽下落した費目

家具・家事用品	△2.2%
交通・通信	△0.6%
被服及び履物	△0.6%
教養娯楽	△0.3%
光熱・水道	△0.2%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 6月

消費支出(一世帯当たり) 255,457円

前月比 147,366円減(36.6%減)

令和元年6月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は255,457円で、前月比36.6%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は37.9%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。